

【地域別振興方向】

- ① 自然交流ゾーン
- ② 田園文化交流ゾーン
- ③ 錦江湾多機能都市交流ゾーン

- 広域連携軸
- 地域連携軸



【まちづくりの基本理念】

- 1 活力ある都市づくり(社会基盤の整備)
(1)地域特性を活かした自然と人にやさしく、災害に強い安全で快適な都市づくり (2)空港、港湾、高速道路、鉄道を活かした都市づくり (3)情報ネットワークを活かした都市づくり
- 2 自然にやさしい都市づくり(生活環境の整備)
(1)安心して暮らせる都市づくり (2)海・山・川が一体となった自然豊かな都市づくり (3)自然と共生した定住環境の都市づくり
- 3 育み磨きあう都市づくり(教育文化の整備)
(1)地域に根ざした特色ある学校教育を推進する都市づくり (2)伝統文化の継承と新しい文化の創造を図る都市づくり (3)人づくりとそのための環境づくり、息の長い生涯学習を推進する都市づくり
- 4 たすけあい支えあう都市づくり(保健福祉の充実)
(1)すべての人が安心していきいきと暮らせる都市づくり (2)生涯にわたり自主的に健康管理ができる都市づくり (3)安心して子供を産み、心豊かに子育てができる都市づくり
- 5 産業ふれあいの都市づくり(産業経済の振興)
(1)産業間の交流、ふれあいによる商工業の振興を図る都市づくり (2)生産者と消費者とのふれあいによる農林水産業の振興を図る都市づくり (3)観光客と地域住民とのふれあいによる観光の振興を図る都市づくり
- 6 住民参画の都市づくり(コミュニティの推進)
(1)住民・自治会組織・企業・ボランティア団体・NPO(民間非営利団体)などと行政との協働による都市づくり (2)人材育成・人材発掘の促進及び国際交流を積極的に推進する都市づくり (3)お互いが人権を尊重しあう思いやりのある都市づくり
- 7 健全な行財政組織の都市づくり(行財政の効率化等)
(1)健全な行財政運営を進める都市づくり (2)開かれた行政を推進する都市づくり (3)質の高い行政サービスの提供を推進する都市づくり



【新市の一体化プロジェクト】

- 1「多彩な地域性」向上プロジェクト
- 2「地域の交流・連携」推進プロジェクト
- 3「多機能都市」創造プロジェクト

2)分野別振興方向

1)社会基盤分野

- まちづくりの様々な分野の基礎となる社会基盤分野では、海・山・川といった資源を活用しつつ地域拠点の整備はもとより、空港、港湾の周辺整備と、これらの拠点と連携する道路網の整備による交通ネットワークの形成を進めます。また、生活に密着した情報ネットワークの整備を推進し、活力ある災害に強い安全で快適な都市づくりを目指します。

(基本目標)

① 地域特性を活かした自然と人にやさしく、災害に強い安全で快適な都市づくり

・新市は、県央地域の特性を活かした市街地活性化のための整備や各ゾーン及び地域拠点の整備充実を図るとともに、自然と人にやさしく、災害に強い安全で快適な都市づくりを推進します。

② 空港、港湾、高速道路、鉄道を活かした都市づくり

・新市では、鉄道、バス等公共交通機関の充実と、空港、高速道路、港湾の施設やその周辺整備促進及びこれらを結ぶ道路網の整備や生活道路網の整備充実を推進すると同時に、産業・観光の振興に活用できる交通体系網の整備を推進します。

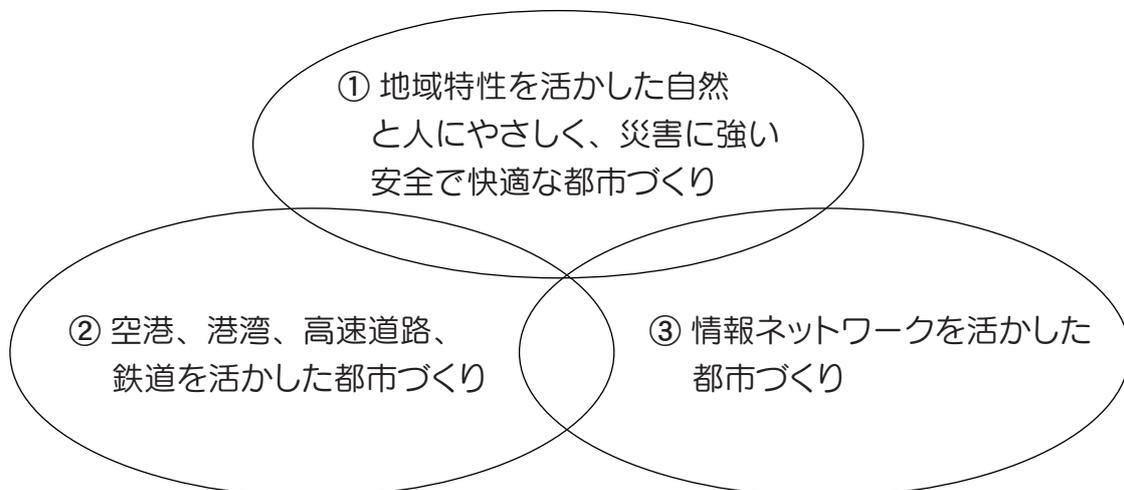
③ 情報ネットワークを活かした都市づくり

・新市は、ケーブルテレビや地域イントラネット等の高速通信網の整備を促進し、双方向コミュニケーション型のまちづくりを目指します。

※ 「ケーブルテレビ」とは、一般テレビ放送のほかBS、CS放送や自局で制作した番組を放送センターから光ケーブルや同軸ケーブルを通じて加入者宅へ放送するシステムで、地域の行政情報や議会中継、話題などを放送する地域に密着したメディアです。また、高度情報化社会における地域の情報通信基盤として、防災、健康・福祉、保健医療、文化教育といった分野での利用が期待されています。

※ 「地域イントラネット」とは、学校、図書館、公民館、役所などの公共施設を光ファイバー等による高速インターネットで接続し、住民に対して行政や教育、福祉、医療、防災などのサービスをより高度化して提供する地域内のネットワークのことです。

<社会基盤分野の基本目標>



2)生活環境分野

- 近年の地域社会では、災害や犯罪等が多発し、また、自然環境の悪化も進んでいます。その対策として最も重要な視点は、住民が安心して暮らせる都市をつくることです。そこで、住民と連携した防災・防犯体制の強化、消費生活の安定等を図りながら、地域の海・山・川が一体となった自然豊かな都市づくりや自然にやさしい都市づくりを目指します。

(基本目標)

① 安心して暮らせる都市づくり

・新市のあらたな地域防災計画を基本として、消防施設の整備と防災・防犯体制を確立します。また、住民の連携、協働による、住民パトロール組織や自主防災組織の結成などにより、安心して暮らせる都市づくりを目指すとともに、自治体に係る施設、建物の安全確保及び子どもの安全対策を推進します。

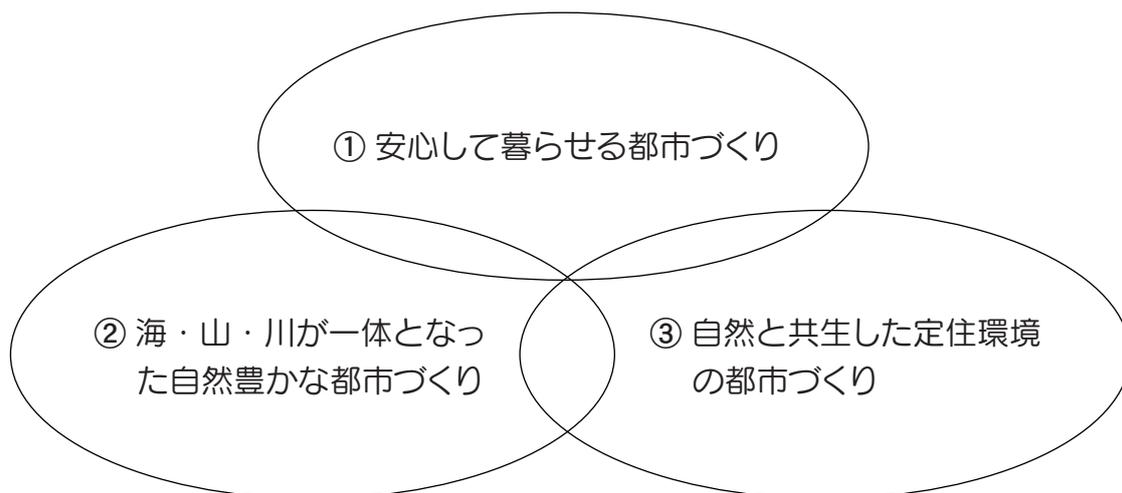
② 海・山・川が一体となった自然豊かな都市づくり

・新市は、海・山・川が一体となった自然豊かな都市づくりのために、自然の保全と自然を活かした施設の整備、下水道整備及び浄化槽整備による水質浄化の推進、住民への分別意識啓発による資源リサイクルの推進、廃棄物処理などの施策の推進と企業・住民・行政が協働する地球温暖化防止運動を推進します。

③ 自然と共生した定住環境の都市づくり

・自然と共生したライフスタイルが実現できる、ゆとりのある住宅、宅地等の整備を進め、定住促進を図ります。

<生活環境分野の基本目標>



3)教育文化分野

- 新市の担い手をつくる教育文化分野では、幼児教育環境の充実、青少年の健全育成や地域に根ざした特色ある学校教育活動を推進し、地域の伝統文化を育みながら、新しい文化を創造していく必要があります。そのためには、情報の共有化や人づくりとその環境づくりのために生涯学習等を支援する体制を充実させ、県央地域独自の特色ある教育文化活動を推進します。

(基本目標)

① 地域に根ざした特色ある学校教育を推進する都市づくり

・新市の学校教育は、新市で策定する教育基本構想のもと、学校選択の拡充や多様な人材の登用等による特色ある学校づくりを進めるとともに、学校施設整備をし、すべての児童・生徒に均等な教育機会を提供します。

② 伝統文化の継承と新しい文化の創造を図る都市づくり

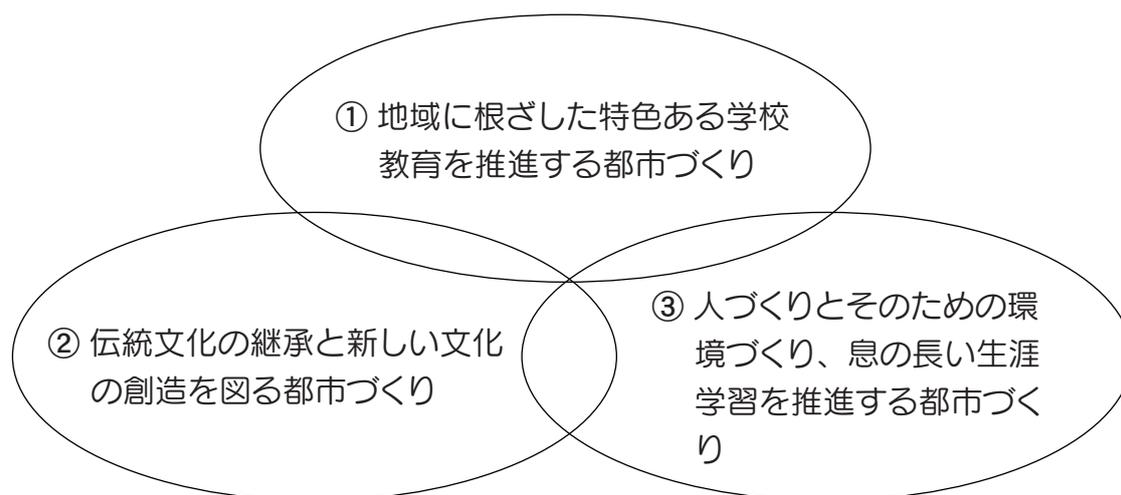
・新市の文化活動は、伝統文化の継承と新しい文化の創造を図る都市づくりを目標に、歴史的文化遺産の保護と活用をはじめ、地域の中で新しい文化を育てることや、公共的施設の統合整備計画に基づき、既存施設の利活用を視野に入れた施設の整備を目指します。

③ 人づくりとそのための環境づくり、息の長い生涯学習を推進する都市づくり

・新市では、地域活動、ボランティア精神の「かん養」、姉妹都市交流等による人づくりをはじめ、すべての世代が参加できる息の長い生涯学習の場づくりの確保に努めます。

※ 「かん養」とは、徐々になじませて養い育てること。

<教育文化分野の基本目標>



4) 保健福祉分野

- すべての人が安心して暮らせる都市こそ、住みよい都市であると考え、そのため、住民自ら「心と体の健康づくり」に努め、「あたたかな家庭や地域の中で共に支えあい、いきいきと暮らせる」都市づくりを目指します。

(基本目標)

① すべての人が安心していきいきと暮らせる都市づくり

・新市の保健福祉は、障害者・高齢者・児童福祉の充実、地域福祉推進体制の整備、相談体制の確立、救急診療体制の充実など、すべての人が安心していきいきと暮らせる都市づくりを推進します。

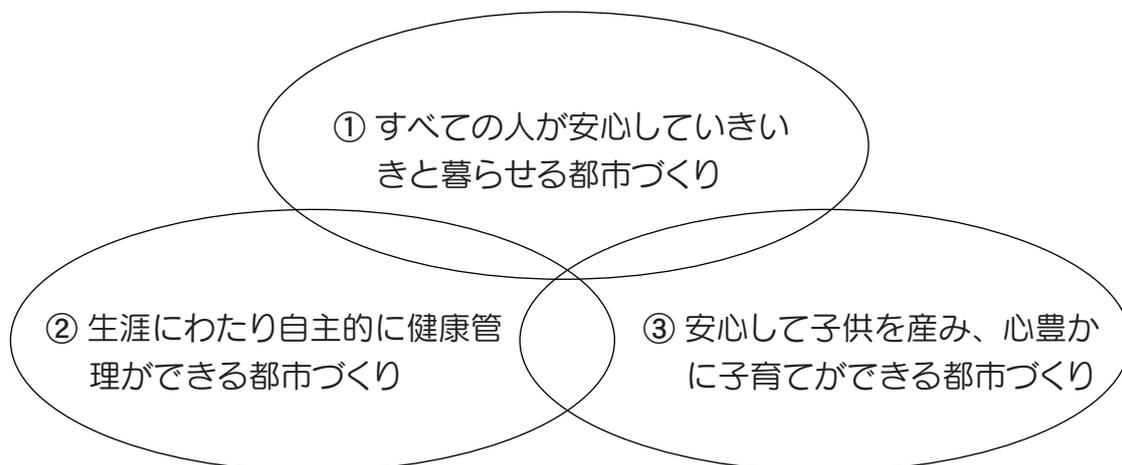
② 生涯にわたり自主的に健康管理ができる都市づくり

・新市では、生涯にわたり自主的に健康管理ができる都市づくりを進めるために、健康教育の充実や保健・福祉・医療・介護が一体となった包括ケアによる健康づくりを推進します。

③ 安心して子供を産み、心豊かに子育てができる都市づくり

・新市では、あたたかな家庭づくり、共に支えあう地域づくりや子育て支援等の充実を図り、安心して子供を産み育て、子供たちが心身ともに健やかに成長できる環境づくりを推進します。

<保健福祉分野の基本目標>



5) 産業経済分野

- 産業経済分野では、先人との「ふれあい」、自然との「ふれあい」、人との「ふれあい」を大きなテーマとして、「働ける・食べられる・遊べる都市づくり＝住みよい都市」を築くために、商工業・農林水産業・観光の各分野など地域内の均衡ある産業振興と産業間の連携によるふれあいの都市づくりを目指します。

(基本目標)

① 産業間の交流、ふれあいによる商工業の振興を図る都市づくり

・新市の商工業部門は、若者にも魅力的な商業の振興、企業誘致と産業・学術・研究機関との連携強化や新エネルギーの開発・活用など、躍進するこの地域が南九州の産業経済の拠点になるよう、産業間の交流、ふれあいによる商工業の振興を図る都市づくりを進めます。

② 生産者と消費者とのふれあいによる農林水産業の振興を図る都市づくり

・新市の農林水産業部門は、安全で安心な農林水産業の推進のために生産履歴の明確化、地産地消の推進、ブランドの確立と対外的なPRにより、生産者と消費者とのふれあいを大切にする農林水産業の振興を推進します。

③ 観光客と地域住民とのふれあいによる観光の振興を図る都市づくり

・新市の観光部門は、空港を拠点として、神話や歴史、温泉を含めた地域資源の活用や対外的なPR強化に努め、体験型・滞在型・癒し型観光を推進するために、観光客と地域住民とのふれあいによる観光の振興を図ります。

< 産業経済分野の基本目標 >

